学校番号	T1204

令和２(2020)年度　公民科

教科	公民	科目	通信倫理	単位数	２単位	年次	２～４年次
使用教科書	高校倫理新訂版（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・先人の思想や生き方を、時代背景やエピソードとともに理解する。
・自分なりの人生や世界についての考えをまとめ、作文や発表を行う。

2　学習の到達目標

・人間としての生き方について理解と思索を深め、自分なりの人生観・世界観を持ち、自分らしい生き方を追求する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人生や社会の問題について関心を高め、意欲的に自分の生き方について考えようとしている。	複雑な倫理的課題について、多面的多角的に考え、理論的根拠をもって公正に判断している。	自らの生き方に関する様々な情報を収集し、ノートやレポート等にまとめることができる。	現代社会に生きる人間としてのあり方・生き方についての基本的な知識を身につけて理解している。
評価方法	ワークシート 観察	ワークシート 観察 レポート 定期考査	ワークシート 観察 レポート 定期考査	ワークシート レポート 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

回	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1回・2回	人間としての自覚	ギリシア思想 キリスト教思想 イスラーム思想 仏教思想 儒教と道家思想	○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ 	 ○ ○ ○	a: 先哲の思想等に関心がある。 b:人間の生き方について考察し表現している。 c:教科書等の内容を理解し適切にワークシートに整理している。 d:古代の倫理・宗教思想をよく理解し知識を身につけている。	ワークシート 観察 レポート 定期考査
3回・4回	日本人としての自覚	古代日本人の思想 日本の仏教思想 近世日本の思想 西洋思想の受容と展開	○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ 	a:日本の思想に関心がある。 b:自己の文化を相対比できる。 c:教科書等の内容を理解し適切にワークシートに整理している。 d:日本の思想についてよく理解し知識を身につけている。	ワークシート 観察 レポート 定期考査
5回・6回	現代に生きる人間の倫理	ルネサンスと宗教改革 科学・技術と人間 民主社会と自由の実現 社会の変革と改良	○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ 	a:近代の哲学に関心がある。 b:近代的個人について考察し表現している。 c:教科書等の内容を理解し適切にワークシートに整理している。 d:近代の哲学をよく理解し知識を身につけている。	ワークシート 観察 レポート 定期考査
7回・8回	現代の諸課題と倫理	生命の倫理 環境の倫理 地域社会の課題 高度情報化社会の課題	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ 	○ ○ 	a:現代の諸課題に関心がある。 b:倫理の問題について考察し表現している。 c:教科書等の内容を理解し適切にワークシートに整理している。 d:現代社会の諸課題をよく理解し知識を身につけている。	ワークシート 観察 レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。